

研究主題 対話を通して学びを深め、自ら発信しようとする生徒の育成
 ～生徒指導の実践上の視点を生かした授業づくりを通して～

共通実践事項

<p>◎ 授業で認められる場面を多くし、自己有用感や自尊感情を高める ◎ 自己決定の場や自己存在感を与え、共感的人間関係を育成していく ◎ 対話と思考をつなげ、個の学びを深めるとともに、表現力の向上を図る</p>	
<p>学びに向かう姿勢 ～こんな生徒に育てたい～</p> <p>○ 仲間との対話を通して学ぼうとする生徒</p> <p>⇒他者を尊重し、他者の意見との共通点を見付けたり、比較したりするなど、他者との関わりを意識した発言ができる。 ⇒間違い、他者との違いをおそれずに発言し、「分からないから教えて」を言うことができる。 ⇒話し合いを通して、新たな考えを創造したり、自分の考えを深めたりすることができる。</p> <p>○ 夢中になって課題に取り組み、粘り強く解決しようとする生徒</p> <p>⇒試行錯誤の中から筋道立てて思考を組み立てていく。 ⇒既習事項を生かして課題を解決したり、いろいろな場面で生かしたりしようとする。</p> <p>○ 集団の中で発信しようとする生徒</p> <p>⇒自分の考えや思いを周囲に伝えようと努力することができる。 ⇒他者の見方・考え方から学び、自分と比較検討し、再構築することができる。</p> <p>○ スパイラル的に学び続ける習慣</p> <p>⇒分からないことが分かるように、分かったことができるようになる家庭学習 ⇒「みさとのまなび」「家庭学習の手引き」を有効活用する。</p>	<p>授業で勝負」授業は公の場 ～主体的・対話的に学びを深める授業～</p> <p>○ 多様な考えが許容される学習集団の育成と学習活動の推進</p> <p>⇒答えを求めず、考えを求める。 ・開かれた発問、ゆさぶる発問 「なぜならば～」を引き出す発問の工夫 ⇒協働的に学び合えるグループ学習の在り方の追求</p> <p>○ 魅力的で、誰でも能動的に取り組むことができる課題</p> <p>⇒課題解決に向けてアイデアや疑問点等を明らかにさせる。 ⇒生徒に働かせたい見方・考え方を明確に捉えながら、教科の本質に即した課題を設定する。</p> <p>○ 思考力と自己表現力の向上を図る授業</p> <p>⇒自力思考の場で個の考えをもたせた上で、学んだことを生かして思考・判断・表現できる場を設定する。 ⇒ICTを効果的に活用し、学びの活性化を図る。</p> <p>○ ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくりへの取組</p> <p>⇒「めあて」（学習課題）の赤囲み、「まとめ」の青囲みによって、1単位時間の見通しをもたせる。</p>

(1) 多様な考えが許容される学習集団の育成と、学習活動の推進
 ⇒ 学習規律の徹底と多様な考えが許容される人間関係づくり
 ⇒ 答えを求めず、考えを求める発問

(2) 学び方を身に付けさせる授業
 ⇒ 基礎的・基本的な知識及び技能の確実な定着

(3) 思考力と自己表現力の向上を図る授業
 ⇒ 個の考えをもたせる自力思考の場
 ⇒ 聴き手の育成、話し合いのルールの確立
 ⇒ 学んだことを生かして思考・判断・表現する場の設定